

第2学年生活科学学習指導案

日 時 平成16年11月5日(金)5校時

児 童 男子5名 女子1名 計6名

授業者 教諭 一井 則子

1 単元名 「みんなでつくろうフェスティバル」

2 単元について

(1) 児童の実態

児童は、お祭りが大好きであり、地域のお祭りでの楽しい経験を持っている。また、昨年度2年生のフェスティバルに招待されて、会を楽しんだ経験もある。中にはそれを覚えている児童もあり、「次は自分たち」と以前からフェスティバルに対して強い意欲を示している児童もいる。

1学期の「ぼうけん、はっけん、町たんけん」では、1年生を招待しての発表会を行い、1年生にとって分かりやすい発表にするにはどうしたらよいかなどについて話し合いながら、会の準備や運営を行った。2学期には、身の回りの廃材を利用しておもちゃを作って遊ぶことにも積極的に取り組み、全員でルールを決めて遊ぶ活動を楽しんだ。しかし、自分なりに作り方や遊び方を工夫できた児童もいたが、友達の模倣で終わってしまった児童もあり、全員に工夫して遊びをつくり出す楽しさを味わわせることはできなかった。また、個人ごとの活動に終始してしまい、友達とのかかわりで遊びを工夫させるところまで活動を広げることができなかった。

(2) 単元について

本単元は、学習指導要領の「(6)身の回りの自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして遊びを工夫し、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。」を受けて設定したものである。

ここでは、児童が身の回りの自然を利用したり、身近にある物を使ったりして遊びをつくり出す楽しさを味わえることや、友達と一緒に遊ぶために遊び方を工夫して、友達とよりよいかかわりが持てるようになることをねらいとしている。

本単元では、前単元で友達の模倣に留まっていた児童にも、個々の出店を作ることを通して遊びを工夫させるとともに、友達とかかわりながら、考えて遊びをつくり出す楽しさを味わわせることができると考えた。

(3) 指導に当たって

本単元は、「けいかくをたてよう」「じゅんぴをしよう」「フェスティバルをたのしもう」の3小単元で構成する。

第1次では、全員で遊びを楽しむためにフェスティバルでどんなことをしたいかについて話し合う。会で行うこと、招待する人、必要な準備などについて話し合わせ、特に出店作りについては、具体的な計画を立てさせることによって、活動の見通しと意欲を持たせていく。

第2次では、第1次で立てた計画に沿って必要な準備を進める。ここでは、招待した人たちに楽しんでもらうためにはどんな工夫が必要か、について考えさせながら準備を進めさせる。そして、作り方や遊び方を変えながら楽しい遊びをつくり出すことができるようにしていきたい。

第3次はフェスティバルの本番である。フェスティバルに来てくれた人たちと積極的にかかわりながら、友達と協力して遊ぶことの楽しさを存分に味わわせたい。

単元全体を通して、児童一人一人のフェスティバルへの思いを共感的に受け止め、どの児童も意欲を持って活動できるようにしていきたい。そして、友達とかかわりながら工夫して遊びをつくり出す楽しさを味わわせていく。そのために、単位時間ごとの評価規準を設定し、評価カードを活用して児童の姿を見取るとともに、個々への支援を計画的に行っていきたい。

3 単元の目標と評価規準

(1) 目標

みんなで楽しむために工夫して準備をし、友達と協力してフェスティバルを行うことができる。

(2) 評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境についての気付き
身の回りの自然や、身近にある物などに目を向けて遊びを考えようとしている。 楽しい会にするために、話し合いで積極的に意見を出そうとしている。 遊びながら出店を作ろうとしている。 フェスティバルに来てくれた人たちと一緒に遊ぼうとしている。	分担した出店の内容を考え、材料の特徴を生かして製作の計画を立てることができる。 出店の作り方や遊び方を変えながら、楽しい遊びをつくり出すことができる。 友達と力を合わせて遊ぶことができる。 工夫して作ったり協力して遊んだりしたことや、楽しかったことなどを表現することができる。	約束やルールがあると楽しく遊べるのが分かっている。 身の回りの物を使って作ったり遊んだりすると楽しいことに気付いている。 遊びを通して、友達のよさや自分との違いなどに気付いている。

4 指導計画と評価規準

次・時間	学 習 内 容	評 価 規 準
第1次 けいかくをたてよう(3)	1 フェスティバルで自分がやりたいことを出し合い、活動の見通しを持つ。	(関)
	1 会でやること、招待する人、必要な準備などについて話し合い、仕事の分担をする。	(関)
	1 分担した出店の内容を考え、製作の見通しを持つ。	(思) (気)
第2次 じゅんびをしよう(6)	3 分担した出店の内容を考えながら、必要なものを製作する。(本時1/3)	(関) (思)
		(思) (気)
		(思) (気)
	1 作ったものを使って必要な練習をしたり、見せ合って修正したりする。	(気)
2 オープニングの会の役割分担をして、会全体で必要なものを手分けして準備する。(全体の飾り、招待状など)		
第3次 フェスティバルをたのしもう(4)	3 招待状を届け、会を開く。 自分の役割を果たし、来てくれた人を楽しませる。	(関) (思)
	1 フェスティバルの感想を話し合ったり、文や絵に表現したりする。	(思) (気)

5 本時の指導

(1) 目標

みんなで楽しむフェスティバルにするために、工夫して作ったり遊んだりすることができる。

(2) 展開

過程	活動の流れ・予想される子どもの活動	教師の支援()・留意点(・)	備考
つ か む 7	<p>1 前時までの活動を振り返り本時の活動とめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> <p>おきゃくさんに楽しんでもらえるお店を作ろう。</p> </div> <p>2 楽しんでもらうために工夫しながら作っていくことを確認する。</p>	<p>教師製作のバスケットボールゲームを提示することにより、活動の見通しを持たせる。(丈夫さ、簡単さ、安全さ等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な活動のために、刃物を使うときは、刃物を自分に向けて使わないこと、周囲に人がいないところで作業すること、一人でできそうにない場合は教師に相談することなどを押さえさせる。 	紙板書
か か わ る 30	<p>3 おきゃくさんに楽しんでもらえるお店を製作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> よりよい物になるように遊びながら工夫していく。 <p>4 友達と試し遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達のよさに気付いたり、よりよくするためのアドバイスをもらったりする。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>具体的評価規準 遊びながら出店を作ろうとしている。(関)</p> <p>A 遊びながら出店を作り、遊び方を変えながらより楽しい遊びを見つけようとしている。</p> <p>B 遊びながら出店を作ろうとしている。</p> <p>Cへの支援 教師が遊んでみて、よい点を認めることにより意欲を持たせる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>具体的評価規準 楽しい遊びにするために工夫して作ることができる。(思)</p> <p>A 楽しい遊びにするために工夫して作り、遊び方を変えながらより楽しい遊びをつくり出すことができる。</p> <p>B 楽しい遊びにするために工夫して作ることができる。</p> <p>Cへの支援 工夫できそうな点について問いかけたり、友達の様子を見させたりして気付かせる。</p> </div> <p>作り方や遊び方の工夫が広がるように、それぞれの児童のよさを認める。</p> <p>作業が進まない児童には、次のような視点でヒントを与える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業の手順 材料の選び方 よりよい遊びづくりのための計画の変更 など <ul style="list-style-type: none"> 作業中の様子から、必要に応じて安全な活動のための事柄を取り上げて指導する。 試し遊びは、二人組みになってお互いの遊びを試させるようにする。 	出店作りの材料と道具
ふ り か え る 8	<p>5 本時の活動を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「遊びながらお店を作ることができたか」「みんなに楽しんでもらうために工夫できたか」の2点について振り返らせる。 発表内容を板書し、まとめに生かす。 	振り返りカード

生活科評価カード

月 日()

評価規準

氏名	支援計画	観点	評価	本時の姿
山内日向		関 思 気		
小林達也		関 思 気		
下館歩実		関 思 気		
小泉祥太		関 思 気		
館山直斗		関 思 気		
堀口真斐郎		関 思 気		